

社会認識と自分なりの解釈を深めることを通して、

社会の在り方や自己の関わり方を問い続ける社会科の学習

I 社会科研究の方向性

1 主題設定の理由

グローバル化の進展や技術革新により社会の実態は大きく、急速に変化しており、一人一人が持続可能な社会の担い手として社会参画の意識をもつことが必要な時代になっています。社会科では、現行学習指導要領において、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想する力や構想したことを説明する力、それらを基に議論する力などを育てることが求められています。

しかし、全国学力・学習状況調査質問紙調査の結果を見ると、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問に肯定的に回答した児童の割合は約50%であり、半数は地域や社会の成長に目を向けることができていないと言えます。本校においては、全国平均よりも高い68.5%の児童が肯定的に回答しているものの、より一層、社会の形成者として社会参画への意識を高めていく必要があります。

これまで本校では、社会的事象の見方・考え方を働かせ、多面的・多角的に課題を追究したり、解決したりする活動を通して、主体的に社会に関わる態度を育てることを重視して研究を進めてきました。社会的事象について複数の視点や立場で捉えたり、社会的事象を関連付けたりすることによって、概念的な知識を獲得する児童の姿が見られました。しかし、社会的事象と自己を結び付けて、社会への関わり方を選択・判断することに関して苦手意識をもっている児童が多くおり、社会の在り方や自己の関わり方を構想する手立てが十分ではないという課題が残りました。

全体研究主題「探究する子供を育てる教育活動の創造」を受けて、社会科における探究の姿を「問題解決の過程を通して、社会の在り方や自己の生き方を追究する姿」と押さえました。

そこで、研究主題を「社会認識と自分なりの解釈を深めることを通して、社会の在り方や自己の関わり方を問い続ける社会科の学習」と設定しました。「社会認識と自分なりの解釈を深める」とは、問題解決的な学習の中で、社会や人々の営みを適切に理解するとともに、社会的事象の特色や意味について自分なりに根拠をもって捉えることです。「社会の在り方や自己の関わり方を問い続ける」とは、過去や現在の社会、人々の営みを基にして、「何が大切なのか」「どのようにしたらよいのか」といった問いを生み、価値的・判断的な知識を獲得することです。

2 目指す児童の姿とその具体

○社会に見られる課題を捉え、自分なりに問いを見いだす姿

○学習問題を解決するための見通しをもち、調べ学習を通して社会的事象の意味を捉える姿

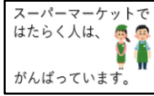
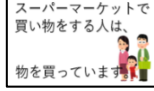
○社会に見られる課題と向き合い、社会の在り方や自己の関わり方を考える姿

「社会に見られる課題を捉え、自分なりに問いを見いだす」とは、生活経験やこれまでの学習、新たな資料から生じた疑問や追究への意欲を基に自分なりの問いをもつことです。「学習問題を解決するための見通しをもち、調べ学習を通して社会的事象の意味を捉える」とは、学習問題の解決に向けて調べるべきことや調べ方を押さえ、調べたことを根拠に社会的事象が社会に果たした役割について捉えることです。「社会に見られる課題と向き合い、社会の在り方や自己の関わり方を考える」とは、学習問題の解決を通して得た自分の解釈を基に社会や自己のあるべき姿を考えることです。

II 研究内容の具体

1 社会の在り方や自己の関わり方を見いだす問題解決的な学習過程の充実

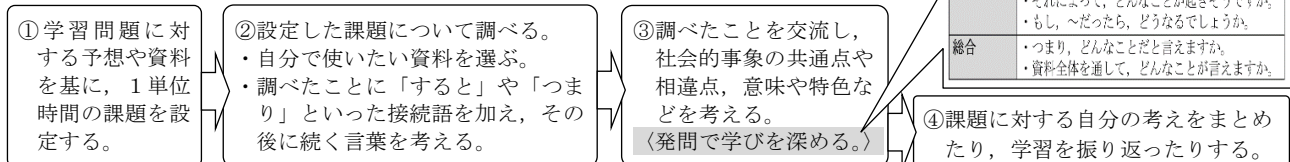
問題解決的な学習過程を充実させ、社会認識を深めることで、社会の在り方や自己の関わり方について見いだす学習が成立すると考えました。また、学習したことを表現したり、発信したりする活動をあらかじめ設定し、見通しをもった問題解決を進められるよう単元を構成しました。

学習過程		見方	考え方
I 学習問題をつかむ。／単元終末の表現活動を知る。 ①教師が見つけたスーパーマーケットニュースを見て、学習問題を設定する。 学習問題：スーパーマーケットで働く人は、お客さんの願いにどのように応えているのだろう。 ②予想を基に学習計画を立てる。→働く人の工夫、売り場などについて調べる。 ③単元終末の表現活動「スーパーマーケットニュース」について知る。		関係的  	国民の生活と関連付け
II 予想を基に、学習問題について調べる。		関係的	比較・分類
事実的な知識 ・スーパーマーケットでは、お客さんの願いを踏まえて、利用しやすい店づくりをしている。 ・スーパーマーケットでは、仕入れをする人、商品を並べる人、レジ係の人などがいて、互いに協力して仕事をしている。	発問 「スーパーマーケットで働く人の仕事の共通点は何だろう。」 →お客さんの願いに寄り添っていること。 →それぞれが自分の担当の仕事に責任をもって働いている。		
III 学習問題をまとめる。		関係的	総合 国民の生活と関連付け
概念的な知識 ・スーパーマーケットで働く人は、お客さんの願いに応えるために、様々な工夫をし、お客さんが利用しやすい店づくりを目指している。そのことによってお店はお客さんに信頼され、売り上げを高めることにつながる。	発問 「スーパーマーケットは、なぜ、信頼されるお店を目指すのだろう。」 →お客さんの信頼を得ることによって、何度もお客さんがお店に来るようになり、売り上げが高まる。		
IV 学習したことを表現したり、発信したりする。 単元終末の表現活動「スーパーマーケットニュース」 この写真を見ると、同じキャベツでも様々な切れ方をしています。1玉そのまま売られているものもあれば、野菜炒め用に切られたものもあります。このような工夫をすることによって、お客さんは料理や家族の人数に合わせて買い物をすることができます。		時間的 関係的	総合

2 社会的事象の意味を捉え、学びを深める調べ学習の在り方

調べ学習で問題解決の根拠となる知識を獲得することによって、学びを深められると考えました。そこで、調べ学習の充実を図り、社会的事象の意味を捉える授業展開や発問について研究を進めました。

《調べ学習の展開例》



比較・分類	・～と比べてどんなところが同じ(似ている、ちがう)ですか。 ・調べたことを、○つに分けるとしたら、どのように分けられそうですか。
関連付け	・なぜ、～なのに～しているのでしょうか。 ・～になったのは、何が原因だと思いますか。 ・それによって、どんなことが起きそうですか。 ・もし、～だったら、どうなるでしょうか。
総合	・つまり、どんなことだと言えますか。 ・資料全体を通して、どんなことが言えますか。

3 社会の在り方や自己の関わり方を問い続ける姿を見取る評価

社会的事象と自己を結び付け、社会の在り方や自己の関わり方を問い続ける姿を適切に見取るために、「まとめ」と「振り返り」の時間を設定しました。「振り返り」については、振り返りの視点を明示し、学び方や知識の変容を実感するとともに、次時への意欲喚起をねらいました。

＜3年次研究の重点＞

- ・社会の在り方や自己の関わり方を見いだす問題解決的な学習過程の充実
- ・社会の在り方や自己の関わり方を問い続ける姿を見取る評価

◇振り返り	自分の学びと向き合う
見方	…に注目して調べました。
考え方	…と比べて、まとめて、分けて、つなげて など
立場	…の立場で考えました。
心	…と感じました。すごかったです。感動しました。
仲間	…さんの意見で…について分かりました。 …さんの…という意見がすごかったです。
成長・変化	…ができるようになりました。 授業の前と比べて…変わりました。
仮定	もし…だったら、
はてな	…にきもちもちました。…がふしぎだと思いました。
未来	これからは、…してみようと思いました。 これから～について知りたいです。

Ⅲ 研究実践

3年生実践 『旭川市のうつりかわり』

実践のテーマ：旭川市の活性化を目指す人々の思いを知り、
旭川市の魅力や未来に目を向ける学習

1 研究授業のねらい

旭川市の移り変わりについて、土地利用や交通、公共施設や人口、生活の様子などの時期による違いについて調べ、旭川市が時代や人々の生活の変化とともに発展してきたことを捉えることをねらいとしました。また、社会参画への意識を育むことをねらい、旭川市の未来について考える活動を設定し、旭川市の発展の方向性について「市長への手紙（市民の声を取り入れた市政を目指す旭川市の取組）」としてまとめました。

本時では、旭川市の交通の要衝である旭橋の近くで、大正時代の建築物をリノベーションした「福吉カフェ」の営みについて調べました。「昔ながらの地域のよさを生かしつつ、時代に合わせてよりよいものを生み出す」ことを大切にしている店主の思いを知ることで、旭川市のよさや魅力、過去や未来に目を向けることの価値に気づき、単元終末の表現活動「市長への手紙」に生かす視点をもつことをねらいました。

2 単元の指導計画（11時間扱い）

段階	時間	◇主な学習活動 ・ 資料	評価方法 【評価規準】 ※網掛けは記録に残す。	見方	考え方
学 ぶ め あ て を も つ	①	◇市民の要望や意見を伝える「市長への手紙」について知り、令和2年度の10歳未満の投函者数が1名であったことの理由を考える。 ・資料「市長への手紙」「市長への手紙の年代別投函者数」 ◇自分たちが「市長への手紙」を書くために、どのようなことを学習していけばよいか考える。	ノートの記述や発言から、「市政に関心をもつことの意味を考え、問いを見いだしているか」を評価する。【思】	関係的	国民の生活と 関連付け
	②	◇旭川駅前の移り変わりについて調べ、学習問題をつくる。 ・写真「旭川駅前の移り変わり」 学習問題：旭川市は、どのように発展していったのだろう。 ◇学習問題に対する予想を基に学習計画を立てる。	ノートの記述や発言から、「建物や道路などの変化に着目し、学習問題を見いだしているか」を評価する。【思】 ノートの記述や発言から、学習問題に対する予想や問題解決の見通しをもっているか」を評価する。【態】	空間的 関係的	比較・ 分類
確 かな 追 究 ・ 解 決	③ ④ ⑤ ⑥	◇旭川市を通る主な道路や鉄道、土地の使われ方、人口、公共施設の移り変わりについて調べる。 ・資料「交通網の移り変わり」 ・資料「土地利用の移り変わり」 ・資料「人口の移り変わり」 ・旭川市のホームページ、各公共施設のホームページ	ノートの記述や発言から、「旭川市の様子が時間の経過とともに移り変わってきたことについて、国民の生活の変化と関連させて理解しているか」を評価する。【知】	時間的 空間的 関係的	国民の生活と 関連付け
	⑦	◇道具と暮らしの移り変わりについて調べる。 ・見学「旭川市博物館」	見学カードから、「時代の経過に伴い、生活が変化し、より便利になってきたことを理解しているか」を評価する。【知】	時間的 関係的	生活と 国民の
ま と め	⑧ ⑨	◇旭川市の移り変わりについて、年表にまとめる。 ・年表（ロイロノート・スクールの活用） 旭川市の交通、土地の使われ方、人口、公共施設は、そのときの旭川市の様子に合わせて移り変わってきた。	年表の内容から、「交通、公共施設、人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や市民生活の変化について理解しているか」を評価する。【知】	時間的 関係的	総合
	⑩	◇「福吉カフェ」について調べる。 ・福吉カフェのホームページ	ノートの記述や発言から「旭川市ならではのよさを生かしながら旭川市の発展を目指す創業者の思いを捉えているか」を評価する。【思】	時間的 関係的	国民の 生活と 関連付け
	⑪	◇学習してきたことを基に、「市長への手紙」を書く。 旭川市は、豊かな自然が魅力です。農業がさかんで食べ物もおいしいので、旭川らしさを大切にしたいお店がたくさん増えるとうよいと思います。また、高齢者の方や外国の方が増えてきたので、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてほしいです。	「市長への手紙」から、「学習したことを基に、旭川市の魅力や未来に目を向けて、まちづくりに関する自分の考えを表現しているか」を評価する。【思】	時間的 関係的	総合

3 本時の学習

(1) 本時の目標

福吉カフェがどのように店づくりを進めているか調べることを通して、旭川市ならではのよさを生かしながら旭川市の発展を目指す創業者の思いを捉えることができる。

(2) 本時の展開（11時間扱いの10時間目）

◇学習活動 ・ 予想される児童の姿	研究との関わり・留意点
<p>1 これまで旭川市の昔と今について学習してきたことを想起し、現在も旭川市内に残る歴史的な建物として「福吉カフェ」の外観を写した写真を提示する。（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見たら、カフェだとは思わなかった。 ・古い建物を直しながら、使っているのかな。 ・カフェってことは最近の写真なのかな。 <p>2 課題を設定する。（2分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドのマスクングを少しずつ、取っていく。 ・「古い」「新しい」双方の理由を聞く。 
<p>課題：福吉カフェは、古いのか、新しいのか。</p>	
<p>3 何を調べたらよいか、活動の見通しをもつ（3分）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ頃できたお店なのか。 ・どのようなお店なのか。 ・どのような商品を売っているか。 <p>4 「福吉カフェ」のホームページを用いて、お店で売られている商品や場所、創業者の起業への思いなどについて調べ、調べたことをノートに記す（10分）。</p> <p>5 調べたことを交流する（10分）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正時代に建てられた建物である。→建物は、古い。 ・お店は、2016年にできた。→お店は、新しい。 ・「トキワ焼き」は、旭橋の形をしている。それは、つまり、旭川らしい商品売っているということ。 ・「福吉らて」は、あんも抹茶も旭川の会社から仕入れている。すると、旭川の会社が喜ぶ。 <p>6 創業者の海老子川さんが、古い建物を直し、新たにカフェを開いた理由を考え、交流する（8分）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古い建物を守りたかったから。 ・旭川の歴史を感じることでできるカフェにしたいと考えたから。 ・旭川のよさや歴史を未来に残したかったから。 <p>7 個人でまとめを書き、全体でまとめる（7分）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「福吉カフェ」のホームページから、開店した年、お店で売られている商品、創業者の起業への思いを調べる。 <p>◇社会的事象の意味を捉え、学びを深める調べ学習の在り方 研究視点2</p>   <p>「福吉カフェ」の前にこの建物には「常盤商店」というお店が入っていました。しかし、2015年に閉店。その後、歴史的建築である建物が、老朽化もあって取り壊しの危機となります。海老子川さんは、この建物を守りながら受け継いでいこうと決意。</p>
<p>福吉カフェは、建物は古いですが、トキワ焼きや福吉らてなどの旭川ならではの商品を販売し新しいことに挑戦している。すると、旭川市の歴史やよさを未来に受け継いでいくことができる。</p> <p>8 本時の学習を振り返る（3分）。</p> <p>Aくんが考えた「旭川らしさ」という言葉がその通りだと思いました。旭橋は、そうだと思っていましたが、「あん」も旭川の会社だということが分かり、旭川にはたくさん魅力があると思いました。</p>	<p>◇社会の在り方や自己の生き方を問い続ける姿を見取る評価 研究視点3</p> <p>福吉カフェが販売している商品の特徴や昔ながらの建物で営業している理由から、旭川市ならではのよさを生かしながら旭川市の発展を目指す創業者の思い捉え、表現している。</p> <p style="text-align: right;">（発言・ノート）</p>

◇授業の見所・本時で願っている児童の姿

福吉カフェが販売している商品の特徴や昔ながらの建物で営業している理由から、旭川市ならではのよさを生かしながら旭川市の発展を目指す創業者の思いを捉え、表現している姿。

4 授業の実際

社会の在り方や自己の関わり方を見いだす問題解決的な学習過程の充実

問題解決の過程の中で、自らの問いを解決するために社会的事象について調べ、社会的事象の意味や役割を捉えたり、自分なりの解釈をもったりすることによって、社会の在り方や自己の関わり方を見いだすことができると考えました。そのために、1, 2年次に取り組んできた学習問題づくりや学習計画、調べ学習の在り方に加え、3年次では、単元終末の表現活動の充実について研究を進めました。

単元終末の表現活動は、これまでの学びの総体である必要があります。獲得した知識をつなげることを意識しながら調べ学習を進めることができるように、事前に単元終末の表現活動を提示しました。

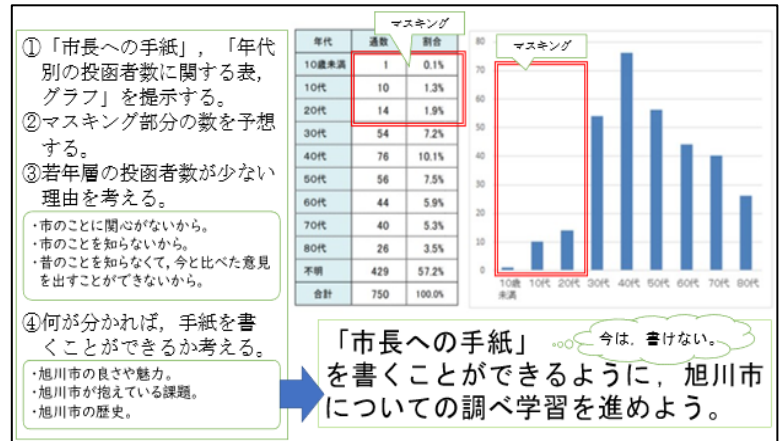
本単元では、単元終末の表現活動を「市長への手紙」と設定しました。これは、旭川市が市民の民意を市政に取り入れるために実際に行っている取組であり、児童も参画できるものです。

1時間目に「市長への手紙」について知り、「若年層の投函が少ない」という課題を捉えました。その後、「なぜ、若年層の投函が少ないのか」という問いが生まれ、自分たちを含む若年層の市政に対する関心が低いこと、そして、「今のままでは、市長への手紙を書くことは難しい」ことを自覚し、旭川市について調べる必要感が生まれました。

単元の終末に、これまでの学びを生かし、今後のまちづくりに関する自分の考えを「市長への手紙」として表現しました。

A児は、調べ学習において、「常磐公園」や「カムイの杜公園」といった公園の良さを実感し、「自然豊かな江丹別地区に公園を設置することで人口増加を図る」という考えをもちました。旭川市の人口が減っているという知識も調べ学習の中で獲得したものです。

また、本時で学習した「福吉カフェ」に関する記述も見られ、「旭川らしさを生かしたまちづくり」という視点をもつことができていることが分かりました。



【単元終末の表現活動を設定する流れ】

【意見記入欄】 (まちづくりへのアイデアなどをお寄せください)

ぼくは旭川市にすんでいますがときわ公園やカムイの
 もりなどが好きです。なぜかという、自ぜんの中で、みんな
 なんとなくあえるというのがすくすきたからです。ぼくは
 このことにたことを考えてきました。自ぜんのまわりであ
 る公園など(大きなもの)を江丹別などにたてて、
 そこに家などをたてます。(自ぜんをたもちながり)その水
 は、自ぜんな公園ができて、人口もふえます。それを旭
 川が、じまんでできるもの(旭橋など)をもとに作った
 お店や商品を売って、旭川らしさを、ひろげてい
 のも、旭川の人口なごにたかるとおもいます。旭橋
 の近くにある福吉カフェは旭橋にたれたデザイン
 の商品などを売っているの、こういうお店をひやし
 たらいいと思いました。

【A児の「市長への手紙」】

社会の在り方や自己の関わり方問い続ける姿を見取る評価

学習内容を自分の言葉でまとめたり、学び方や知識の変容について振り返ったりする時間を1単位時間の終末部に設定しました。

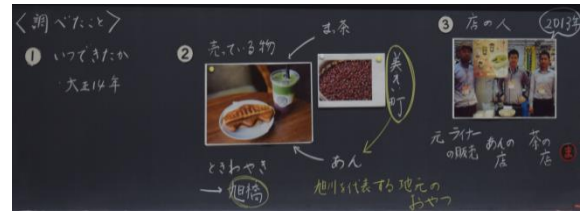
「まとめ」では、課題に対する答えを記述することを通して、本時の学びを確認し、定着を図ることをねらいました。また、教師のフィードバックによって、学びを深めたり、問題解決への意欲を喚起したりすることもできると考えました。

「振り返り」では、自分自身の解釈や思い、学び方などについて記述し、学びのつながりや学び方の変容を実感することをねらいました。3年次研究では、振り返りの視点を提示し、「どのように振り返るか」児童が選択できるようにすることで、知識と学び方を自ら更新し続け、社会の在り方や自己の関わり方を問い続けようとする態度を養うことを目指しました。

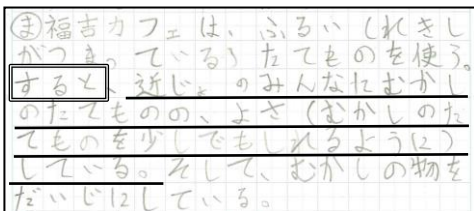
本時では、店舗の写真を基に「福吉カフェは、古い？新しい？」という課題を設定し、ホームページを活用して「①建物が、いつできたか」、「②売っている商品」、「③お店の人」について調べました。

B児は、調べ学習において、建物が建造された年に着目しました。まとめの場面では、「すると」という接続語を用いて、「創業者が古い建物を使った意味」について表現することができました。

C児は、「仲間」の視点で学びを振り返り、友達の考えに納得し、自身の学びが深まったことを実感している様子が見られました。

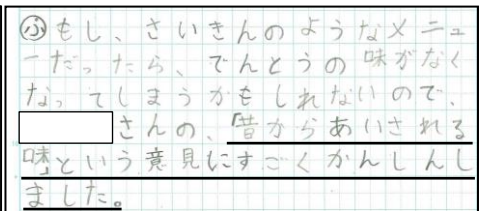


【本時の板書の一部】



【B児の本時のまとめ】

振り返り	自分の学びと向き合う
見方	…に注目して調べました。
考え方	…と比べて、まとめて、分けて、つなげて など
立場	…の立場で考えました。
心	…と感じました。すごいいました。感動しました。
仲間	…さんの意見で…について分かりました。…さんの…という意見がすごいいました。…が分かるようになりました。授業の前と比べて変わりました。
成長・変化	…が分かるようになりました。
仮定	もし…だったら、
はてな	…にきもちもちました。…がふしぎだと思いました。
未来	これから…についてみようと思います。これから…について知りたいです。



【振り返りの視点とC児の本時の振り返り】

IV 3年次研究の成果と課題

3年次研究では、「社会の在り方や自己の関わり方を見いだす問題解決的な学習過程の充実」、「社会の在り方や自己の関わり方を問い続ける姿を見取る評価」を重点とし、研究を進めました。

1 研究の成果

- 問題解決的な学習過程を充実させることによって、調べ学習で獲得した事実につながりが生まれ、共通点や相違点、意味や特色に着目しながら学びを深めることができました。
- 単元終末の表現活動を事前に提示することで、見通しをもって学習を進められるとともに、学びの必要感が生まれ、探究のサイクルを児童自身が回すことにつながりました。
- 振り返りの視点を提示することで、「どのように振り返るか」が明らかになり、振り返りの場面での記述内容が充実し、知識や学び方の変容を自覚することにつながりました。

2 今後の課題

- 児童に課題意識が生まれていない状態で課題が設定されることがあり、「どこで課題を設定するか」といった課題設定までの時間や1単位時間における課題設定までの流れについて明らかにする必要があります。
- 単元のまとめや単元終末の表現活動において、これまでの調べ学習で獲得した知識をつなげることに難しさを感じる児童への手立てについて明らかにする必要があります。

V 参考文献

- 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編 文部科学省 日本文教出版 平成29年6月
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 社会】
国立教育政策研究所教育課程研究センター 東洋館出版社 令和2年6月
- 初等教育資料 No. 989「学習評価の改善と指導の充実」文部科学省
東洋館出版社 令和2年1月
- 社会科教師の授業・学級づくり 小倉 勝登 東洋館出版社 令和2年7月
- 深い学びに導く社会科新発問パターン集 宗實 直樹 明治図書 令和3年12月